

令和7年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1	施設名	(所管課)
	富山県美術館	文化振興室文化政策課
2	施設所在地	
	富山県富山市木場町3-20	
3	施設設置年度	
	平成28年度	
4	設置目的	
	20世紀美術の世界的コレクションを新しい切り口やテーマで紹介するとともに、デザインの視点を積極的に取り入れ、人々とアートやデザインをつなぐ場を創出し、県民の美術に関する知識の普及及び教養の向上に資することを目的とする。	
5	施設概要	
	①建物の構造 鉄骨造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造）、地上3階 ②敷地面積 12,548㎡ ③建物(延床) 面積14,990㎡ ④施設内容 展示室、TADギャラリー、アトリエ キッズコーナー、映像コーナー、図書コーナー オノマトペの屋上 ほか	
6	指定管理者	
	富山FSパートナーズ	
7	指定期間	
	3年	
	令和7年4月1日	令和10年3月31日
8	利用者数及び利用（使用）料金収入の状況	
(1)	利用者数（人） ※この他、参考となる指標があれば追加	
	R3	R4
	380,795	543,188
	R5	R6
	782,931	456,887
	R7	
	489,522	
(2)	利用（使用）料金収入（千円）	
	R3	R4
	27,312	46,156
	R5	R6
	40,992	44,272
	R7	
	49,413	
(3)	利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）	
	R3	R4
	-	-
	R5	R6
	-	-
	R7	
	-	

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

令和6年度と比較し、The New York Timesをはじめとする各種メディアにおける富山県の取り上げ等の影響もあり、国内外の観光客が増加した可能性が高いと考える。実際、来館者はアジア圏にとどまらず、アメリカやヨーロッパ圏からの来訪も多く見受けられた。

指定管理初年度であることから単純比較は難しいものの、こうした外部要因も背景に、利用者数および収入ともに一定の増加傾向が見られたものと認識している。

令和7年度は、これらの動向を踏まえ、令和8年度に向けた集客施策および広報PRの方向性を検討・整理した年度であったと考える。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・ 来館者がスムーズに駐車できるよう、土・日・祝日に仮設誘導看板を設置するとともに、駐車場整理員を増員している(満車時には環水公園立体駐車場や周辺駐車場へ誘導)。

- ・ 令和7年度より環水公園駐車場が有料化したことに伴い、富山県美術館来館者に対しては「1時間無料」の対応を実施している。

- ・ 外国人来館者への対応として、受付および各展示室入り口に「ポケットク」を設置し、多言語通訳体制を整えている。

- ・ 令和7年度より通年で、コレクション展・企画展ともにオンラインチケットの販売を開始した。

- ・ 富山県内の交通・観光事業者および富山市と連携し、対象サービス利用者が観覧料を団体割引価格で購入できる仕組みを継続している。

- ・ 令和7年度においても、県内の福利厚生代行サービス業者や旅行企画会社と連携し、観覧料の支払いに利用できるクーポン等の受け入れ体制を維持している。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- ・ ナイトミュージアムの実施(8月、12月)

- ・ 美術館でヨガ(10月、2月)

- ・ インスタグラマー誘致(8月、12月)

- ・ 前指定管理者から掲載を行っていた、タウン誌や観光ガイドブック等への広告を引き続き実施し、県内外の観光客誘致を図った。

- ・ ナイトミュージアムやヨガのイベント実施時に駅周辺の宿泊施設や富山市内の保育園・幼稚園にチラシを配り広報活動を実施した。

- ・ 近隣の水墨美術館と連携し、相互に前売観覧券を販売している。(通年)

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	実施期間：通年、各企画展開催中に2日間強化日を設定
回答者数	回答者数：通年316人 企画展2,507人
結果	通年：良い 59.8% 普通 22.1% 不満 2.8% 無回答 15.2% 企画展：良い 85.3% 普通 3.1% 不満 0.2% 無回答 1.2%
結果を踏まえた改善事項	来館者満足度向上のため、館内スタッフに対しより親切、丁寧に対応を行うように指導を行った。また、接遇研修を実施し、ホスピタリティ向上を図った。

② その他利用者の声を反映させる取組み

アンケート回答やご意見内容を精査し、各セクション担当者と共有。サービス向上に向けて情報共有や指導の徹底を図っている。

③ 主な苦情と対応

館内案内や注意事項がわかりにくいとのご意見があったため、展示室の出口表記や看板設置などを行った。

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報に記載されている文書は鍵付き棚に保管し、限られた人が開けている。また、PC状に関しても限られた端末からのみのログインや、権限者の設定を行い、閲覧者を限定している。

(6) 関係団体との連携

- ・ 環水公園での花火イベント実施時に屋上庭園を開放するなど、多くの方にお楽しみいただけるような環境を整えた。
- ・ 指定管理者が運営している、近隣スポーツ施設でも広報チラシを配布するなど、新たなファン層獲得のために、展開を行った。

(7) 施設・設備の維持管理

専門保守業者による保守点検を行い、各担当セクションスタッフからの報告や突発的な故障や破損に迅速に対応するなど行い、維持管理に努めている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・令和7年度に、年2回の防災訓練(地震・火災)を継続して実施。あわせて訓練内容の検証を行い、防災対策マニュアルの適宜見直しを図っている。
- ・屋上庭園に監視員を常時配置し、熱中症対策や混雑緩和、急な天候悪化時等の危険に対して、即座に運営判断・対応を行える体制を維持している。
- ・富岩運河環水公園管理者が主催する花火大会の際には、屋上庭園で鑑賞する来館者の安全を確保するため、令和7年度に引き続き、案内看板の設置や監視員の増員配置を行う。

10 所管課の管理運営確認状況

- ① 定期報告の受理
- ② 維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③ 個人情報に関するトラブルの有無
- ④ 危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有／無	回数(有の場合)
有	12
有	20
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

- ・開館から9年が経過し施設設備の不具合が散見され始めていることから、令和8年度においても、将来的な改修・修繕に向けた早期対応および長寿命化に資する情報収集に努める。あわせて、故障等によるサービス低下を未然に防ぐため、日常の保守点検および維持管理を適切に遂行する。
- ・令和8年度は、国内外の観光客誘致をさらに加速させるため、幅広い客層へ魅力を訴求できる企画展の開催や、戦略的な広報活動を展開していく必要がある。
- ・地域住民に一層親しまれる施設を目指し、令和8年度も既存の魅力を発信し続けるとともに、新たな価値の創出により来館の契機となる魅力を提供していく必要がある。